

平成22年度 関係機関に対する要望事項並びに建議要望の成果・経過・回答状況等

《要望事項等》

a. 青森県商工会議所連合会要望 八戸要望項目

要望日：平成21年6月2日

要望先：青森県知事

要望者：青森県商工会議所連合会

項目：1. 景気対策の拡充強化

①公共工事費の継続的確保と前倒し執行並びに地元企業への優先発注

②企業誘致の促進並びに地場産業の振興

2. 上北横断道路（三沢～天間林間）の早期完成

3. 県立屋内スケート場の早期建設

4. 八戸港活性化対策の推進

①中央第一防波堤、中央第二防波堤の早期完成

②ポートアイランドの効率的利用の推進第二期計画事業の促進

③八太郎2号埠頭第二期計画事業の促進

④八戸港の特定重要港湾への指定

⑤八戸港の航路、泊地及び岸壁前面の深淺測量実施及び公称水深の維持浚渫

⑥八戸港の総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）の推進

5. 東北新幹線全線開業に伴う八戸地域における観光施策ソフト事業への支援

b. 八戸港の整備促進・特定重要港湾指定・親水空間の確保について

要望日：平成21年7月28日・29日

要望先：国土交通省、東北地方整備局、青森県等

要望者：八戸市長、八戸市議会議員、当所会頭、八戸港振興協会会長

内容：北東北の物流拠点港として一層の貨物の増大が期待される八戸港の整備促進航路泊地の所要水深確保及び特定重要港湾の指定、親水空間の確保について要望

c. 新大型巡視船の優先的な代替配備について

要望日：平成21年7月29日

要望先：国土交通省、八戸海上保安部、海上保安庁

要望者：八戸市長、八戸市議会議員、当所会頭、八戸港振興協会、八戸漁業指導協会

内容：八戸海上保安部に配備されている大型巡視船について、優先的に近代的装備を有する高性能な新大型巡視船を代替配備することを要望

d. 中小企業金融対策に係る要望について

要望日：平成21年8月10日

要望先：八戸市長

要望者：当所会頭

内容：市の実施する中小企業向け融資制度の継続的な実施及び融資枠拡充を要望

e. 八戸市に対する平成22年度要望

要望日：平成21年10月8日

要望先：八戸市長

要望者：当所会頭

要望項目：*最重点要望 4項目

1. 新幹線都市としての観光施策並びに地域経済活性化の推進
2. 改正まちづくり三法の趣旨に基づいた中心市街地活性化の推進
3. 水産業振興・再生に係る事業の推進
4. 公共工事費等の継続的確保と前倒し発注並びに地元企業への優先発注の促進

*重点要望 11項目

1. 田向土地区画整理事業区域における高度医療拠点地区づくりの推進
2. 中心市街地活性化基本計画区域内の固定資産税の軽減
3. インナーリング道路1号線・2号線構想の早期実現
4. 八戸北インター工業団地等への企業誘致の促進及び誘致企業の建設工事等における地元企業の優先活用
5. 八戸市中央卸売市場の整備並びに水産物消費地市場の開設
6. 市道長苗代・卸団地線並びに都市計画道路売市・長苗代線(3・3・4)長苗代字観音堂～国道45号間の一体的な整備促進
7. 八戸市屋外広告物条例の運用緩和
8. 地域基幹産業活性化のための諸施策の充実並びに各種制度の利用促進
9. 宅地の開発許可の条件緩和
10. 屋根付き屋外イベント広場の整備
11. 「Buyはちのへ」事業の啓発及び事業への支援・協力

f. 国・県に対する平成21年度要望

*最重点要望 4項目

1. 上北横断道路の早期完成
2. 都市計画道路沼館三日町線(3・5・1)の整備促進
 - ①主要地方道本八戸駅停車場線の安全確保対策及び冬期間における解氷・融雪対策
 - ②都市計画道路沼館三日町線(3・5・1)の早期事業着手
3. 八戸港活性化対策の推進
 - ①中央第一防波堤、中央第二防波堤の早期完成
 - ②ポートアイランドの効率的利用の推進並びに第二期工事の事業促進
 - ③八戸港の特定重要港湾への指定
 - ④八戸港の航路、泊地及び岸壁前面の深淺測量の実施並びに公称水深の維持浚渫
 - ⑤八戸港総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)の事業促進
4. 県立屋内スケート場の早期建設

*重点要望 5項目

1. 高規格幹線道路八戸久慈自動車道の早期完成
2. 環境・エネルギー等各構想に関連する産業の育成
3. 都市計画道路白銀・市川環状線(3・3・8)田面木字法霊林～尻内町字鴨田間並びに直田～天久岱～国道45号間の早期着手
4. 原子力関連施設等の工事並びに資材調達及びメンテナンス業務における県内企業の活用
5. (仮称)八戸西インターチェンジの設置

- g. 平成22年度税制改正について
要望日：平成21年10月29日
要望先：地元選出国會議員
要望者：当所会頭
内 容：現下の経済危機から早期に脱却するため、企業の活力を引き出し、雇用の維持・増大に向け思い切った税制措置を要望。
- h. 中心市街地の空き床・空き店舗解消に係る支援制度の創設について
要望日：平成21年11月6日
要望先：八戸市長
要望者：当所会頭
内 容：厳しい経済状況が続く中、テナントリーシングの競争に打ち勝つべく、中心市街地の活性化は及び企業誘致、雇用対策の観点から空き床・空き店舗の解消に係る手厚い支援制度の創設について要望
- i. 東北新幹線八戸以北開業後の八戸駅全便停車について
要望日：平成21年12月18日・25日
要望先：JR東日本盛岡支社、JR東日本盛岡支社本社
要望者：八戸市長、八戸市議会議長、当所会頭、市内立地企業など
内 容：平成22年12月予定の東北新幹線八戸・新青森間開業後においても、八戸駅の利便性が損なわれることのないよう、新幹線全便の八戸駅停車を要望

《建議要望の成果・経過・回答状況等》

a. 八戸市に対する平成22年度要望 最重点項目回答状況

1. 新幹線都市としての観光施策並びに地域経済活性化の推進

はちのへ観光誘客推進委員会が実施する各事業へ支援協力する。来たる東北新幹線新青森開業に向け、八戸ならではの観光を確立する施策の展開に取り組む。また、産業観光振興への支援、観光客受け入れ対応の強化、コンベンション誘致への支援にも努めてゆく。

2. 改正まちづくり三法の趣旨に基づいた中心市街地活性化の推進

①郊外における大規模集客施設の開発抑制

当市では大規模集客施設が立地した場合に中心市街地への影響が大きいと考えられる準工業地域について、大規模商業施設制限地区としての特別用途地区を都市計画決定し、併せて建築基準法に基づく「八戸市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例」を制定し抑制に努めており、今後も無秩序な開発の抑制を図る。

②中心市街地活性化協議会の運営に対する協力・支援

引き続き協議会の運営に対する支援・協力をを行う。

③大型店に求める事業者責務のガイドラインの策定

県の動向を確認しながら、他都市の事例や実効性について、調査・研究する。

④準都市計画区域の指定

県が策定する都市計画区域マスタープランを踏まえながら、慎重に対応する。

⑤八戸市中心市街地活性化基本計画掲載事業に対する支援

計画に掲載されている民間事業に対しまして、各種支援制度に係る情報提供や、制度に則った助成等、適切かつ効果的な事業展開が図られるよう支援する。

⑥くらしのみちゾーン事業の推進並びに電線類地中化事業計画区域の拡大等による快適な歩行空間の確保

事業中区間のうち、十一日町は 20 年度で事業完了。朔日町、鷹匠小路、十六日町については引き続き整備を進めていくほか、新たに十停車場線、鳥谷部町線の一部（ハナミズキ通り）延長約 350mの予備設計に着手。

⑦「まちの駅はちのへ」の施設運営に係わる支援

建設予定の観光交流施設との関連も踏まえ、今後の支援方策について検討する。

⑧ヤグラ横丁～馬場町間(主要地方道八戸大野線・市道中央停車場線)の歩道整備

今後、歩行者の安全の確保及び中心市街地の回遊性の向上を考慮しながら関係機関と協議し、検討してまいります。

3. 水産業振興・再生に係る総合的振興事業の具体的推進

魚市場整備については、国の流通構造改革拠点漁港整備事業（現事業名：水産物流通機能高度化対策事業）を活用して八戸漁港を整備するための基本計画が、20 年 2 月に特定第三種漁港としては初めて、国から承認された。

現在、先行着手している A 棟は、構造改革が進む大中型まき網漁業の水揚げに対応できる衛生管理機能を備えたハサップ対応施設として新築することとしており、22 年 3 月工事着手。

4. 公共工事費等の継続的確保並びに地元企業への優先発注の促進

工事内容において施工が困難な場合を除き、地元企業への優先発注を基本とし、地元以外の企業に発注する場合においても、出来るだけ地元企業を下請として活用するよう機会をとらえて要請していく。

発注時期についても前倒し発注に努めていく。

b. 国・県に対する平成 21 年度要望 最重点項目回答状況

1. 上北横断道路の早期完成について

八戸市と青森市を結ぶ幹線道路網の空白域である三沢～天間林間（26 k m）は一般国道として、みちのく有料道路と第 2 みちのく有料道路を接続する自動車専用道路として重要であり、現在、同路線のうち、六戸町から上北町までの延長 7.7 k m「上北道路」が平成 17 年から事業開始され平成 24 年度完成を目指し工事が進められている。上北町から天間林までの延長 7.8 k m「上北天間林道路」が平成 21 年度から事業着手されているが、残りの部分 10.5 k mは早期事業化を今後も要望。

2. 都市計画道路沼館三日町線（3・5・1）の整備促進

市では、平成 21 年 3 月に「本八戸駅通りまちづくり案イメージパース」を地元の皆さんと一緒にとりまとめ、本路線の整備を含めた内丸地区全体のまちづくりについて県に働きかけている。

また、地元で平成 19 年 6 月に、まちづくりの機運を高める事を目的に「本八戸駅通りまちづくり促進協議会」が設立されており、青森県に対し、引き続き本路線の早期事業着手に向けて働きかけいく。

3. 八戸港活性化対策の推進

現在八戸港は、物流需要の増大、船舶の大型化や貨物のコンテナ化などの変化に対応し、中央第一・中央第二防波堤、河原木1号ふ頭（ポートアイランド）などの整備が進められている。コンテナ取扱い量等も順調に増加している。また、平成15年4月にリサイクルポートに指定されている。このようなことから特定重要港湾の指定を目指しているが、現状の国の方針は新たな昇格には厳しい状況であるが、八戸港の整備並びに当地域の振興・発展にとって非常に重要であり、更なる貨物取扱量の増大に努め、指定に向けて国に対して強く要望していく。

4. 県立屋内スケート場の早期建設

平成15年11月に策定された青森県財政改革プランにより、着工見合わせが決定され、さらに、平成20年12月に策定された青森県行財政改革大綱では、「大規模施設については、既存施設の耐震や老朽化等のための改築・改修を優先することとし、新たな大規模施設の整備については、財政健全化の見通しが立つまでの間、必要に応じて、将来に向けた検討・議論を実施する」との方針が示されている。

市では引き続き屋内スケート場建設の緊急性と必要性を強く訴えながら、県立施設の早期建設を目指して結成された、超党派の県議団、市議員連盟とも連携を密にし、県立八戸芸術パークもあわせて、県に対して強く要望してゆく。

c. 高規格幹線道路八戸久慈自動車道の早期完成

八戸・久慈自動車道は、当市と久慈市とを結ぶ延長約50kmの高規格幹線道路であり、これまでに、八戸南環状道路の3.8km、八戸南道路の3.4km、及び久慈道路3.2kmの約10kmが暫定供用されております。

本路線の事業内容であります、八戸南環状道路（八戸JCT～八戸是川IC間）4.8kmは、用地買収や県道との立体交差の工事等が行われている。

また、八戸南道路（種差海岸階上岳IC～階上IC間）5.3kmについては、平成24年度までの完成を目標に用地買収や改良工事等が進められている。

さらに、岩手県側は、階上町・久慈市間のうち、久慈市侍浜～夏井町間の7.4kmが「久慈北道路」として平成21年3月に新規事業採択され、21年度から路線測量及び地質調査等が行われている。

d. 平成22年度 税制改正について

日本商工会議所の要望活動の成果として下記の事項が改正された

- ・ オーナー課税の廃止
- ・ 小額減価償却資産の取得価額の損金算入特例の2年延長
- ・ 中小企業投資促進税制の2年延長
- ・ 中小企業等基盤強化税制拡充 2年延長
- ・ 租税特別措置透明化法案での実名公表見送り
- ・ 交際費の損金算入特例の2年延長
- ・ 小規模企業共済制度の拡充
- ・ 中小企業倒産防止共済制度拡充
- ・ 企業グループの支援税制の創設・拡充